

延岡とミャンマー

# 気持ちぴったり 5年の交流

ミャンマーと延岡  
1/14 産業から、いろんな分野へ

延岡商工会議所（吉玉典生会頭）などの一行が3月9日にミャンマーを訪問。同国第2の都市マンダレーでミャンマー日本本材開発センター（MJC）で日本経営を学んだ研修生の同窓会（MABA）と経済交流促進に関する包括連携協定を結んだ。これまで延岡市とは2014年から交流を重ねており、今回も終始友好ムードで交流が深まつた。

マンダレーは、ミャン

マーノのほぼ中央に位置

し、第2の規模を誇る。  
延岡商工会議所とMABAの包括連携協定が結ばれた後での交流会会場は、明るい笑顔で満ちあふれていた。協定の締結によって何が生まれるのか。関係者の声も弾んだ。

具体的なものができることで信頼関係は一層強まった。第2期のスタート。延岡の企業が進出する環境が整うとともに、ミャンマーの国底

に向けて力を尽してきました。

に頑張りたい」と期待。

2年前に研修で来延した

ホテル経営のソウタイさん（37）は、「延岡のスタッフは責任を持って頑張っていた」と良い部分の吸収に熱心だった。

また、JICA九州宮

崎県北地域国際協力アド

バイザーの富山隆志さん

（67）は、「信頼関係の構築を一番大事にしたい」と人材育成に意欲。MJ

Cチーフアドバイザーの

山内邦裕さん（59）は「産

業分野を中心とした交流

から観光やスポーツと広

がりを見せ、具体的な成果も伴っている。この機会にいろんな芽を育てたい」と声を弾ませた。

14年1月にミャンマー

を訪問した若手経営者の一人で友好会事務局長の

梶井慶之さん（57）は、「太陽工業社長」は「中小企

では」と期待を入れた。

業同士の交流として今ま

で工業が中心にやってき

たが、延岡商工会議所は

商業も含み業種の幅も広

がる。観光やスポーツな

どいろんな分野に拡大し

てきていることも成果。



包括連携協定の締結後に行われたMABA、マンダレーホテル協会との交流会。延岡とミャンマーの発展の期待に何度も乾杯を重ねた